

# 大会報告書

## 「青少年のための科学の祭典」名張大会報告書

- ①主催 りカラボ i n なばり (=「青少年のための科学の祭典」名張大会実行委員会 )  
共催 公益財団法人日本科学技術振興財団
- ②後援 文部科学省、三重大学、三重県教育委員会、津市教育委員会、亀山市教育委員会、名張市教育委員会、伊賀市教育委員会、尾鷲市教育委員会、熊野市教育委員会、紀北町教育委員会、三重県総合博物館、三重県教職員組合、三重県小学校理科教育研究会、三重県中学校理科教育研究会、三重県高等学校理科教育研究会、三重県中学校技術・家庭科研究会、全国科学館連携協議会、全国科学博物館協議会、NHK、日本物理教育学会、一般社団法人日本生物教育学会、日本地学教育学会、日本基礎化学教育学会、一般社団法人日本科学教育学会、一般社団法人日本理科教育学会、一般社団法人日本地質学会、一般社団法人日本生物物理学会、一般社団法人日本物理学会、公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本アイソトープ協会、公益社団法人日本理科教育振興協会、一般財団法人日本私学教育研究所、公益社団法人日本植物学会、公益社団法人日本動物学会、公益社団法人日本天文学会、公益社団法人日本工学会、一般社団法人電気学会、日本エネルギー環境教育学会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、産経新聞社津支局、中日新聞社、伊勢新聞社、三重テレビ放送、株式会社ZTV
- ③協賛 中部電力、岡三加藤文化振興財団、他
- ④助成 子どもゆめ基金
- ⑤会場 名張市教育センター（三重県名張市百合が丘5番町25番地）
- ⑥開催日時 令和元年10月26日（土） 10:00～15:00 開催
- ⑦来場者数 669人（内子ども数：377人）
- ⑧出展数 22ブース
- ⑨出展タイトル一覧
- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 紙コップでコケッココー     | 10. スライムづくり           |
| 2. 動く絵本をつくろう       | 11. 星砂って何かな！          |
| 3. 備長炭電池でモーターをまわそう | 12. ミクロの世界を観察しよう      |
| 4. 「コイルモーター」をつくろう  | 13. 分光シートで、光を分解       |
| 5. 電子工作をしよう        | 14. 検流計をつくろう          |
| 6. 「のぼり人形」をくろう     | 15. 「あー」で、踊るへび        |
| 7. バランスとんぼをつくろう    | 16. アルコール爆発でロケットをとばそう |
| 8. 万華鏡をつくろう        | 17. 「テンセグリティ」をつくろう    |
| 9. ウルトラ浮沈C         | 18. CCレモン電池をつくろう      |

19. 火おこし体験

21. 液体窒素で、 $-200^{\circ}\text{C}$ の世界を体験

20. 紫キャベツで酸アルカリを調べよう

22. 「空気砲」で大実験

⑨製作物

- ・チラシ A4版/片面カラー、片面モノクロ/製作部数：8000枚
- ・カラーポスター A2版 製作部数：100枚
- ・実験解説集 30部
- ・会場案内看板：7枚
- ・各ブース名称パネル：23枚

⑩広報活動

1. 案内チラシは、教育委員会、各学校長を通じ、名張市の各小学校の全児童生徒・教職員に配布。また、市内の幼稚園・保育所・保育園の全保幼児に配布。各中学校には、掲示分を配布。市内の市民センター、放課後児童クラブにチラシとポスターを配布。
2. 名張大会のお知らせは、10月22日付け読売新聞に掲載。また、大会のようすは、10月27日付けの読売新聞と毎日新聞に掲載された。地元のケーブルテレビ「ADS」では、10月27日に大会のようすが約3分間、ADSニュースとして、放映された。
3. 体験を重視した科学実験により、子どもたちも大人も科学に興味関心が高まる事業となった。また、小中学校教員の実験講師・近大高専学生・市内外退職教職員と中高生徒のサポーターが協働して活動でき、教員の授業力向上や世代間交流をすすめることができた。

⑪その他

来年度実施予定

日時 2020年10月24日(土) 10時から15時

場所 三重県名張市百合が丘5番町25番地 「名張市教育センター」